

復活祭

2020年4月12日

主日礼拝式順

【神の招き】

前 奏

招 詞

賛 美

罪の告白

赦しの言葉

頌 栄

【神の言葉】

祈 禱

聖書朗読

旧 約 出エジプト記 14:15-18(旧 P.116)

使徒書 ローマの信徒への手紙 6: 3- 4(新 P.280)

福音書 マタイによる福音書 28: 1-10(新 P.59)

「恐れることはない」 清弘剛生牧師

説 教

沈 黙

賛 美

【感謝の応答】

使徒信条

祈 禱

献 金

主の祈り

【派遣】

報 告

頌 栄

祝 福

後 奏

詩編 16:10-11

1 5 4 (1、3) 「地よ、声たかく」

(「礼拝の手引き」をごらんください)

5 4 5 「父の御神に」

1 4 8 (1、3) 「すくいぬしは」

(「礼拝の手引き」をごらんください)

(「礼拝の手引き」をごらんください)

5 3 9 「あめつちこぞりて」

——牧師室より——

「イースターおめでとうございます」

イースターは、歴史的にはクリスマスより早くから祝われてきた祝祭です。教会はキリストの復活を祝い続けてきました。それは、キリストが過去の人ではなくて、今も生きておられる救い主であると教会が信じ続けてきたということでもあります。ただ「教え」が今日まで生きているわけではありません。キリスト御自身が生きていると教会は信じているのです。

復活されたキリストが今も生きておられ、私たちに救ってくださるという信仰を最も鮮やかに示しているのは、本日の第2朗読において語られている「洗礼」です。

「キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたち」(ローマ6:3)という表現が出てきました。この言葉など、まさに「キリストは生きておられる」という信仰なくしてはまったく意味をなしません。洗礼は単なる形式的な儀式ではありません。もしそうならば遠の昔に失われていることでしょう。しかし実際には、教会は洗礼を二千年の長きに渡り、時には殉教者の血が流される中、命がけで行い続けてきたのです。何のために?——「キリスト・イエスに結ばれるため」です。

そして、そのようにキリストの内にあり、キリストに結ばれているならば、私たちお互いもまた、復活されたキリストによって結び合わされているのでしょう。そのような私たちとして、今日はそれぞれの場にありながらも、時を同じくして礼拝をささげ、共に主の復活を祝います。その「共に」は目には見えませんが、確かに私たちの礼拝において起こっている霊的な出来事なのです。(清弘剛生)

それともあなたがたは知らないのですか。キリスト・イエスに結ばれるために洗礼を受けたわたしたちが皆、またその死にあずかるために洗礼を受けたことを。

ローマ6:3

——次週主日礼拝—— 4月19日 復活節第二主日

説 教

聖 書

「週の初めの日の出来事」 清弘剛生牧師

旧約聖書 出エジプト記 15: 1- 5

新約聖書 ペトロの手紙1 1: 3- 9

ヨハネによる福音書 20:19-23

讃美歌 7, 5 4 5, 1 4 7, 5 4 1

今週の祈りの課題

①復活されたキリストに導かれ、聖霊降臨祭に至る復活節の時をふさわしく歩むことができるように。

②感染拡大収束のために、一人ひとりが御心にかなった賢明な行動を取ることができるように。